



郊外は好調 都心で苦戦

マンション6社明暗

3社が
当期、増益
2社が
減益

ジャスダック市場に上場する主なマンション販売の三〇〇四年三同期業績は明暗が分かれそうだ。首都圏のマンション市況が悪化するなか、郊外の低価格物件など商品に特徴を持つ三社が経常増益を確保する見通し。一方、都心部が中心の企業は大手との競争などで経常減益になりそう。

ジャスダック市場に上場する主なマンション販売の三〇〇四年三同期業績は明暗が分かれそうだ。首都圏のマンション市況が悪化するなか、郊外の低価格物件など商品に特徴を持つ三社が経常増益を確保する見通し。一方、都心部が中心の企業は大手との競争などで経常減益になりそう。

経常利益は前期比三九%増になる見通し。首都圏郊外での割安な物件販売に力を入れ、賃貸から分譲への住み替えを望む若い家族の需要を掘り起こす。二千万円前半が中心の低価格マンションの販売戸数が前期比三%増の千二百五十戸になるほか、戸建ても八七%増の千六百戸を計画する。

フージャースコーポレーションの連結経常利益は前期比三〇%増(前期は単独決算)になりそう。今期は首都圏郊外の割安な物件に力を入れ、購入を見合わせてきた低所得者層を開拓する。好採算の共同事業や自社開発物件の割合が増え、利益率も改善しそう。

一方、都心部が地盤のサンウッドの単独経常利益は前期比五三%減になる見通し。マンション販売戸数は二%減の百九十戸程度を見込む。前期は高額物件が好調だったが高層物件が好調だった。今期は低価格物件が全体の九割程度に高まる見通し。今期から販売する高層物件の広告宣伝費などを前倒して計上することもある。

ダイナシティの連結経常利益は前期比一九%減になりそう。マンション販売戸数は一七%増の千二百八十八戸を計画する。単身者や若い夫婦向けのマンション分野で、新規参入した大手との価格競争が激化する。粗利益率は一・三%減の二〇%程度の見通し。人件費を抑制するが補えず、二期連続の経常減益になりそうだ。

ジャスダック上場の主なマンション販売会社の今期連結業績見通し
(単位百万円、カッコ内は前期比)
(増減率%、▲は減少。※は単独)

社名	売上高	経常利益
アネストワン※	74,000(▲41)	6,260(▲39)
新日本建物	53,700(▲6)	2,000(▲12)
菱和ライフ	40,910(▲14)	5,380(▲17)
ダイナシティ	37,570(▲6)	1,540(▲19)
フージャース	12,320(▲7)	1,050(▲30)
サンウッド※	11,000(▲13)	350(▲53)

アネストワン※の単独



株式会社

フージャースコーポレーション

Hoosiers